

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業(やすらぎ・いたわり)

## 「信州環境フェア2016～子どもたちに環境について学んでもらおう～」事業

### 次世代を担う子どもたちが環境について考える機会を提供する長野県最大の環境フェアを実施

環境保全、再生可能な自然エネルギーの利用、生物多様性の保持など、環境について考える契機となるようなイベントが長野県で毎年、開催されている。子どもたちを対象とする企画を組み込むことで、昨年は来場者数が増加した。



約60団体が参加した「信州環境フェア」



「信州環境フェア」を告知するチラシ

### 16回目となった「信州環境フェア2016」で子どもたちを意識したイベントを新設

自然豊かな信州の地で暮らす長野県民のために、企業、NPO、行政などが一体となって地球温暖化防止や省エネルギーなどの環境保全の取り組みを推進し、持続可能な社会を構築する契機となるべく実施されている「信州環境フェア」。

2001年に第1回が開かれ、途切れることなく回を重ねてきたが、その16回目となる「信州環境フェア2016」が、昨年7月30日、31日の2日間、長野市にあるビッグハット(若里多目的スポーツアリーナ)で開催された。全体で約60団体が参加し、それぞれ工夫を凝らしながら、展示やデモンストレーションを行った。

「環境というテーマが周知・浸透してきた半面、それだけではなかなか集客につながらなくなってきたのも事実です。新たな事業展開の方向性を模索している段階

ですが、やはり環境を保全していくためには、次世代を担う子どもたちが環境について考えることも重要です。その意識付けとして、ここ数年、子どもに対する環境教育の側面にも力を入れてきました」

そう話すのは、信州環境フェア実行委員会の構成団体のひとつ、長野県環境保全協会の専務理事、宮島和雄さん。実行委員会では、より一層、子どもたちに興味を持ってもらえるような注目度の高いプログラムとして、AJOSCの助成を活用したイベントを昨年のフェアにおいて実施した。そうした努力が功を奏したのか、昨年は対前年比で、11.3%の来場者数の増加があったという(2015年5,957人→2016年6,634人)。

なお、昨年の信州環境フェア2016ではAJOSCも特別協賛として名を連ねたほか、展示スペースにブースを設置し、環境をテーマにした社会貢献フォーラムや業界の取り組みについての紹介を行った。

### 体験型学習やエコ工作教室などで体を使って学べる環境イベントを実施

新企画のひとつが、小学生と保護者20組40名を対象としたエクスカッション(体験型学習)である。これは有機栽培に取り組む長野県信濃町の農園でとうもろこしの収穫体験をすることで、食べものを通して環境について考え、学んでもらうというもの。「意識してとうもろこし畑を見たこともなければ、実際に農作物を収穫したこともなかったため、参加した子どもたちには新鮮な驚きだったようです。収穫したものを食べ、「甘〜い!」と声をあげていました」と、実行委員会事務局を務める信濃毎日新聞社の木下透さんは話す。

また、夏休みの自由研究にも役立てられる体験型施策として、エコ工作教室を開催した。これは長野市少年科学センターの出張講座という形で行われたもので、ペットボトルを再利用したオリジナル万華鏡を作成するというもの。



出展したAJOSCのブース

フェア期間中の両日とも開催し、抽選で選ばれた約60名の子どもたちが参加し、熱心に万華鏡づくりに取り組んだ。

さらにステージイベントとして、テレビなどでもお馴染みのエコノミスト、門倉貴史氏による「必ず誰かに話したくなる経済学～環境問題を経済学で読み解く～」 「家事えもん」でお馴染みの松橋周太氏による子供でも楽しみながら実践できるエコ掃除や料理のテクニックについてのトークショーを開催した。

「今回は改めて子どもを意識した企画を実施できたことで、従来以上の成功につながったと思います。参加団体へのアンケートでも、一般の方々に関心・興味を持ってもらうためのいい機会になったという声を多くいただきました」と、宮島さんは話す。長野県最大級の環境イベントとして認知されている信州環境フェアだが、今後も循環型の持続可能な社会を築くことの大切さを長野県民や子どもたちに啓発していくという。



食べ物を通して環境について学ぶ「とうもろこし収穫体験」を実施

### 助成団体: 信州環境フェア実行委員会事務局



#### 子どもをメインターゲットとする方向性は今後も堅持

助成のおかげでエクスカッション、工作教室、トークショーを実現でき、フェアの内容を充実できました。おかげさまで県内の数地域において、この環境フェアのミニ版のようなものが開催されるようになってきました。今後は参加団体ごとの展示に加え、フェア全体で大きなテーマを掲げ、訴求力の強いイベントを実施したいと思っています。

信州環境フェア実行委員会  
(一社)長野県環境保全協会 専務理事 宮島和雄さん